



やすひさの瓦版 (第85号)

Home-page <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail shiozaki@y-shiozaki.or.jp

2010年3月23日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久
〒790-0003 松山市三番町4-7-19
TEL 089 (941) 4843 FAX 089 (941) 4894

新たな夢と希望を目指す国家戦略を

今、日本は重要な岐路に立っています。変わりゆく世界勢力地図の中で、日本が「経済小国」になり、国民の暮らしが一層厳しくなるのか、皆が再び夢と希望を持ち、明るく元気で幸せに生きられるのか、の分かれ道にいます。長期的な国家ビジョンに基づく広範で強力な政策を今すぐ打ち、強い日本の復活を果たさねばなりません。

しかし、民主党連立政権は、次世代にツケを回す対症療法的政策だけで、根本治療を行おうとしません。国民の多くは不安を募らせているのが実態ではないでしょうか。

現状では、経済も、財政も、教育も、外交もダメになる、との懸念が広がり、政治とカネの問題もあり、内閣支持率は低下の一途です。普天間移設問題の結論にかかわらず、日米同盟関

■係へのダメージや、アジア諸国での信用失墜は回復しようもありません。

こうした中、私は、同じ危機感をもつ舛添要一、菅義偉、世耕弘成議員などと共に「経済戦略研究会」を立ち上げました。国民の新たな夢と希望や幸せの実現には、日本の経済・産業・社会構造の大転換による成長戦略の展開こそが最も重要だと考えたのです。参加者全員で改革に正面から立ち向かうという共通認識を確認し、すでに郵政民営化、産業構造改革の勉強会を開催しました。

また私の提案で、自民党に「成長戦略特命委員会」が設置され、石破政調会長が委員長、私が座長で、4月央の取りまとめを目指し、党の成長戦略を策定し、参院選のマニフェストに組み込む予定です。

他方、自民党支持率は全く改善していません。これは、自民党は変わった、との新鮮なイメージが党に全く感じられないからです。また国の方向性や皆さんの暮らし改善への明確な政策パッケージが国民に示されていないことにもよります。政治不信を解消すべく、私も最大限の努力を続ける覚悟です。

4月には松山市議会議員選挙、7月には参議院選挙を控えています。地域再生なくして、強い日本の復活はありません。両選挙は極めて重要です。山本順三候補ならびに自民党候補や私と志を同じくする皆さんへのご支持を宜しくお願い申し上げます。



改革をやり抜く
(2/17・第一回「経済戦略研究会」、自民党本部)



世界に勝てる産業構造へ
(2/27・「成長戦略特命委員会」
初会合、自民党本部)



四国最大の太陽光発電システムの
点灯式に参加。
(2/15・日新化学工業、伊予市)



地域で頑張る民間児童クラブを
支援しよう。
(3/6・松山)

「やすひさ」が行く、見る、聞く！



地域の皆さんと七草粥で無病息災を祈願する。(1/7・松山・久米)



「日本の未来は貴方たちのもの。」(1/10・松山市新玉地区成人式)



強い日本は強い中小企業から。(2/20・中小企業家同友会等の皆さんと・松山)



松山にもノルディックウォークが定着中！(1/10・毎週日曜 AM8:00県美術館前集合)

次世代のリーダーを育てる！

「明恭塾」

みんなとともに学ぶ「明恭塾」を開催。第17回は、「劇団P.Sみそ汁定食」主宰、「まっすん」こと榎形浩人氏を講師に迎え「想像を創造する」と題し、コミュニケーションについて実技を交えてお話しを頂く。(1/30)

第18回は、愛媛学園理事長渡邊笙子先生、愛媛調理製菓専門学校の大西望先生を講師に迎え、日本一の生産量を誇る愛媛の「はだか麦」を使っの調理実習を行いました。(3/13)



「想像を創造する」「はだか麦」を調理

感染症のプロ、『世界の中の日本』を語る

高校時代の米国留学仲間、前 WHO 西太平洋地域事務局長の尾身茂自治医科大学教授をお迎え、「第22回フォーラム21」を開催。(12/26)



基調講演では、新興感染症に備えた対策や外から見た日本の医療など、WHO での経験を踏まえたお話しを頂く。

基調講演に引き続き、対談を行い、会場の参加者とともに医療先進国としての日本の医療を取り戻すべく、活発な意見交換を行う。



「ふるさと対話集会」開催！

自民党「ふるさと対話集会」を行い本音こそ、政治の原動力であることを実感しました。

農業中心の町、宮城県伊具郡丸森町では、集会前の昼食に地元ササニシキ米から作った「玄米粉麺」を頂き、農政はじめ幅広いご意見を頂くへの具体的要望が。(1/27)

大分県杵築市では、「民主党の戸別所得補償のようなバラマキは論外だが、自民党は強い農業を作る党としてのビジョンを明確にし、後継者が育つようにすべき」など、厳しい本音を頂く。(3/1)



「伊具郡丸森町」にて



「杵築市」にて

「質問趣意書」ってなーに？

A. 国会議員が、内閣に文章で質問できる仕組みのこと。

国会で議員が質問することと同じ意味をもつもので、提出から必ず7日以内に内閣（今なら鳩山内閣）は回答の義務があります。もし、皆さんが、国に何か質問してみたいと思われましたら、塩崎やすひさが、皆さんに代わって質問します。ぜひご提案を！皆さんと政治や国との距離がぐっと近づくと思います。

～あなたの声を政策に～ 参加者大募集！！

塩崎やすひさは今後もテーマ別プロジェクトならびに“暮らしの対話ミニ集会”を実施していきます。みなさんの生の声をお聞かせ下さい。

連絡先：塩崎恭久事務所
089-941-4843（松尾・望月）

